

2019年度

事業計画書

建学の精神

建学の精神

人間性に支えられた高度な工業技術者を広く学術の研鑽を通じて育成する

基本理念

人を育て技術を拓く（ひらく）

教育目標

豊かな人間性の錬成とすぐれた工業技術者の育成

教育方針

- 学生の個性を伸ばすきめ細かな教育の実現
- 産業界を支える自立した実務型技術者の育成
- 国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる技術者の育成
（基本教科の確実な修得・コンピュータに強い技術者の育成・個性化への対応）

使命・目的

工業に関する専門の学術と一般の学芸とを教授研究し、かつ、人格の形成と陶冶を図り、もって文化の向上に寄与する

大学部門

I. 教育分野

① 高大接続を円滑に行うための学力3要素を考慮した入試改革の実施

文部科学省の高大接続改革を踏まえ、学力3要素を多面的・総合的に評価する入試制度の改革を進め、2021年度以降の入学選抜方針を策定・公表します。

② 時代を生き抜く基礎力をつける教育プログラムの構築

学生の基礎力育成状況を評価するため、学修ポートフォリオ等を活用した評価手法を検討し、新たに基礎力養成教育プログラムを構築します。

③ 主体的学びを推進する実践教育やFD活動などの充実

時代が求める主体的な学びを身につける実践教育であるアクティブ・ラーニング科目の充実と、これに関するFD活動に組織的に取り組みます。

④ 多様化する学生に対する組織的なサポート態勢の充実

各学科・系をベースに修学支援、就職・進学指導をきめ細かく組織的に取り組むことで、情報を広く共有し、要指導学生の早期発見と早期対応により、休退学率を抑制します。また、これらの活動を通じて学生満足度の向上を図ります。

⑤ 人間力をつけるキャリア教育に連動したインターンシップの検討

人間力を身につけるため、西工大版キャリア教育(社会人基礎力等の育成)に連動した、2年次から参加できるインターンシップを創設し、インターンシップ参加率50%以上を目指します。

⑥ 3ポリシーに基づくアセスメントポリシーの設定と学修成果の評価

教育課程及び授業科目ごとの学修成果の評価方針(アセスメントポリシー)を策定します。その方針に基づいて把握した評価結果を活用し、教育プログラムの改善にも取り組みます。

⑦ 教育の質を保証するための客観的データによるIRの構築及び情報公表の推進

「学修成果の評価方針(アセスメント・ポリシー)」に従って集約した、入試・授業・欠席に関する情報や学修行動などの各種アンケートのデータを組織的に分析し、教育活動の改善に繋がります。また、学修成果に関して得られた教育情報を公表します。

Ⅱ．研究分野

① 工学とデザインを融合させた創造的な課題解決型研究の推進

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」で育んだ研究事例を基に、地域企業などと連携して新たな課題解決型研究に取り組みます。

② 大学院や研究支援体制の強化による研究環境の充実

西工大の研究ブランドを確立するため、教員の研究活動を支援できる力を有する大学院生を継続的に確保する仕組みを検討するとともに、大学院教育の質向上を目指します。

③ 科学研究費補助金等外部資金の獲得強化

外部資金獲得推進委員会を中心に、全学的に外部資金の獲得を推進し教育研究の質向上と活性化を図り、その成果を学内及び社会に還元します。

Ⅲ．地域貢献

① 地域課題解決プラットフォームの構築

既存の研究センターと地域連携センターを発展的に統合し、「地域・産学連携センター」を整備すると共に、本学のリソース(各学部及び附属研究所等の大学設備)及び外部連携組織を明確化し、地域課題解決型の共同研究実施のプラットフォームを構築します。

② 工学とデザインの融合による地域課題解決実績の向上

「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」の実績をもとに、本学が関われる地域課題のニーズを発掘し、リーディングプロジェクトを選定します。

③ 地域企業等との連携促進と地元企業就職者数の向上

本学の教育研究データベースの活用や、研究シーズなどの各種展示会へ出展及び近隣の自治体、企業等への公開により、コンタクト数を増加させます。これらを通じて、地元企業のインターンシップ受け入れ事業所を増やし、地元就職者数の向上を図ります。

IV. 管理・運営

① 大学機関別認証評価の適合判定（2021年度受審予定）

教育研究における大学の内部質保証機能を重視した新評価システムに対応した教育改革と、それに連動した自己点検・評価活動を推進し、2021年度に受審予定の大学機関別認証評価における適合判定を目指します。

② 組織力向上を目指したSDの充実と仕事・スキルの見える化

職員の資質向上を目指した計画的かつ実践的なSD・OJT等の研修の充実と、職員ポートフォリオの導入などを通じて仕事の見える化などに取り組み、組織力向上を図ります。

③ 新たな入試広報戦略と組織の再構築

組織的な責任体制のもとで入学試験の実施や戦略的な学生募集を図るため教学組織に新たに入試広報部を設置します。併せて、入試・学生募集にかかる企画立案や、AO入試における面接等で、多面的・総合的評価に取り組むためアドミッション・オフィサー制度を導入します。

④ 危機管理体制の強化

大規模な自然災害、事件、事故などの不測の事態や、ハラスメント等による人権侵害などにも対応した危機管理マニュアルを確実に機能させるため、関係者に対する研修や危機を想定した訓練等を実施します。



基盤整備部門

I．ガバナンスの強化

ガバナンス強化の観点から、私立学校法等の一部改正（施行2020年4月1日）に合わせ、以下の施策に取り組みます。

- 1) 「西日本工業学園ガバナンス・コード」の策定
- 2) 役員の責任の明確化、監事・評議員機能の充実
- 3) 情報公開の推進
- 4) 上記に伴う寄附行為、関連規程等の整備

II．施設・設備整備計画の策定

経営環境の変化に対応するため、効率的な運用を前提とした施設・設備整備計画を策定します。

III．教育研究環境の整備

- 1) おばせキャンパス P棟改修工事
- 2) おばせキャンパス R棟改修工事
- 3) おばせキャンパス テニスコート照明設備等更新（LED化）
- 4) おばせキャンパス M棟受電設備更新
- 5) 小倉キャンパス 電話交換機更新
- 6) 小倉キャンパス 図書セキュリティーシステム更新